

## ～ジョージ・ワシントン大学（アメリカ）との国際交流を実施しました～

ジョージ・ワシントン大学より Roger I. Ideishi 教授を招き、小児領域の作業療法に関する講義や今後の学部間の連携等についてディスカッションを行いました。

米国ではすでに多くの作業療法士が学校に勤務し直接学校の中で支援を実施しており、また地域でクリニックを開業するなど、日本とは異なるスタイルでの実践が行われています。加えて、文化的にも言語的にも多様な人々が生活している米国社会での作業療法の実践は、将来の日本の作業療法を牽引する人材となる本学の学生にとって参考になることが多いです。

Roger 教授は、発達障害がある子どもとその家族の社会参加に向けた革新的な作業療法について（特に自閉症スペクトラム障害を中心とした感覚処理障害による困難に配慮したセンサリーフレンドリーな取り組みについて）や、クリニックや学校、地域で展開される小児領域の作業療法における実践的な小児作業療法について（日本と異なるシステムや共通する視点、未来に向けた展望など）など、講義を通して本学学生の国際的な視点を育て、モチベーションの向上に大きく貢献されました。

これからも、ジョージ・ワシントン大学との交流や連携を通じ、双方の学生の国際的視点を育んでいきます。

